

野生動物管理学研究センター (野生動物救護室)



年次報告書2009

岐阜大学応用生物科学部

岐阜県



目 次

はじめに	1
センターの概要	
沿革／運営／組織	2
目標と目的／施設	3
センター活動	4～5
センターの活動内容	
救護状況	6～7
リハビリテータボランティア活動状況	7
収容結果	8～10
シンポジウム／セミナー	11
普及活動	12
センター紹介	13
学生リハビリテーター勉強会	13～14
業績及び出版物	
論文／その他	15
学会発表（一般口頭・ポスター）	16
学会シンポジウム・自由集会等	
他機関等への標本提供	
新聞掲載・テレビ放送等	17
組織と運営	
運営協議会と会議メンバー	18
運営経費／寄付一覧	
あしがき	19



はじめに

野生動物管理学研究センター長 鈴木 正嗣

平成21年4月、野生動物管理学研究センターは、応用生物科学部と岐阜県との共同運用体制のもとで活動してきた旧野生動物救護センターを改組する形で再スタートを切りました。これは急激に複雑・多様化が進む「人と野生動物の関係性」への適切な対応を目指すものであり、従来の救護活動は存続させつつも、新たに「野生動物医科学分野」と「生息域管理学分野」とを設置することにいたしました。そして新分野の設置にともない、生産環境科学課程や食品生命科学課程の教員も運営協議員／併任教員として参画することになりました。この改組により、名実ともに「応用生物科学部の附属施設として、野生動物管理の側面からの教育研究を推進し地域ならびに国内外の生物多様性の保全に貢献する機関」としての体制が整ったと自負しております。

平成21年度の本センターの事業として特筆すべきは2点あります。第1は岐阜県による「特定鳥獣保護管理計画（イノシシ）」の策定に運営協議会員/併任教員4名が参画したことです。そして同計画には、県の役割として「計画の推進に当たっては、岐阜大学応用生物科学部附属野生動物管理学研究センター等の専門機関と連携を図る」と明記されました。旧野生動物救護センターに関わる応用生物科学部と岐阜県との協定は文字通り傷病野生鳥獣救護に限定されたものでしたが、この記述は本センターと岐阜県との連携関係に「野生動物管理に関わる包括的な展開」の必要性を提示したものと理解されます。第2は、10名もの負傷者を出したツキノワグマによる人身事故への対応です。他の関係諸機関や研究者との連携のもと、発生直後から事故原因の究明に積極的に関わり、3月には「乗鞍岳で発生したツキノワグマによる人身事故の調査報告書」を発行することができました。この報告書は、綿密な加害個体の分析や生息環境調査を踏まえており、同様な事故の再発予防策の検討に不可欠な情報を提供することになりました。

上記のように、本センターは岐阜県における野生動物管理の推進に実質的な貢献を始めました。しかし、イノシシやシカ等の農地や市街地への出没、爆発的増加の兆しを見せるシカ、湿原植物に対する加害など、課題はまだ山積しております。私共としては、これら諸問題にも可能な限り対応していく所存でありますので、関係者の皆様にはこれまで同様のご支援とご指導を頂くことができれば何よりの幸いです。

センターの概要

沿革

平成15年11月 「COE野生動物救護センター」として設立

文部科学省の岐阜大学21世紀COEプログラム「野生動物の生態と病態からみた環境評価」の事業推進拠点として設立されました。

平成19年4月 「岐阜大学応用生物科学部附属野生動物救護センター」として改組

岐阜大学21世紀COEプログラムが平成19年3月末日をもって終了したのを受けて学部附属のセンターとなりました。

平成21年4月 「岐阜大学応用生物科学部附属野生動物管理学研究センター」として改組

「野生動物医科学分野」と「生息域管理学分野」を設置し、生産環境科学課程や食品生命科学課程の教員も運営協議員/併任教員として参画することになりました。傷病鳥獣救護は「野生動物救護室」にて従来通り継続しています。

運営

「岐阜大学応用生物科学部附属野生動物管理学研究センター規程、および運営協議会細則」に従い、野生動物管理学研究センター運営協議会の議を経て事業を実施しています。

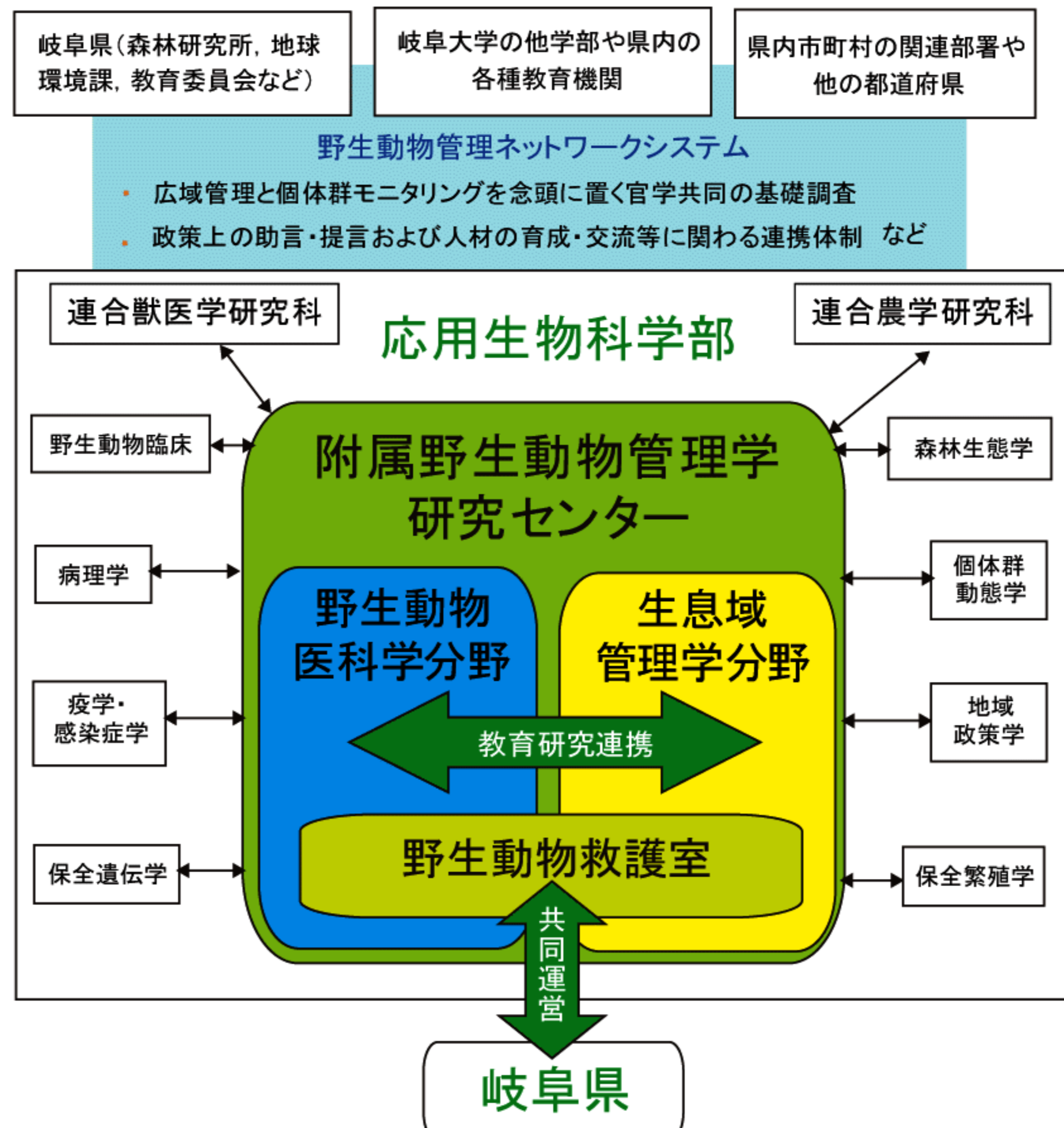
本センター野生動物救護室は、平成19年4月より岐阜大学応用生物科学部と岐阜県との協定書に基づき官学連携融合事業として共同運営しています。

また、岐阜大学と岐阜県との包括連携協定にもとづく「環境をテーマとした共同事業」として「岐阜県野生動物管理ネットワークシステムの構築」を推進しています（この一環として、岐阜県環境生活部からの依頼により特定鳥獣保護管理計画検討会科学部会委員の推薦等も行っています）。

組織

本センターは、センター長、運営協議員/併任教員11名（センター長および事務長を除く）、事務長、リハビリテータ2名および岐阜県から派遣された非常勤獣医師1名から現在構成されています。また、本センターは多くの市民や学生リハビリテータの皆さんの協力を得ています。

下図に示すように、センター内組織（下方中央部）を基盤に、岐阜県内外における野生動物管理の中核として機能することを目指しています。

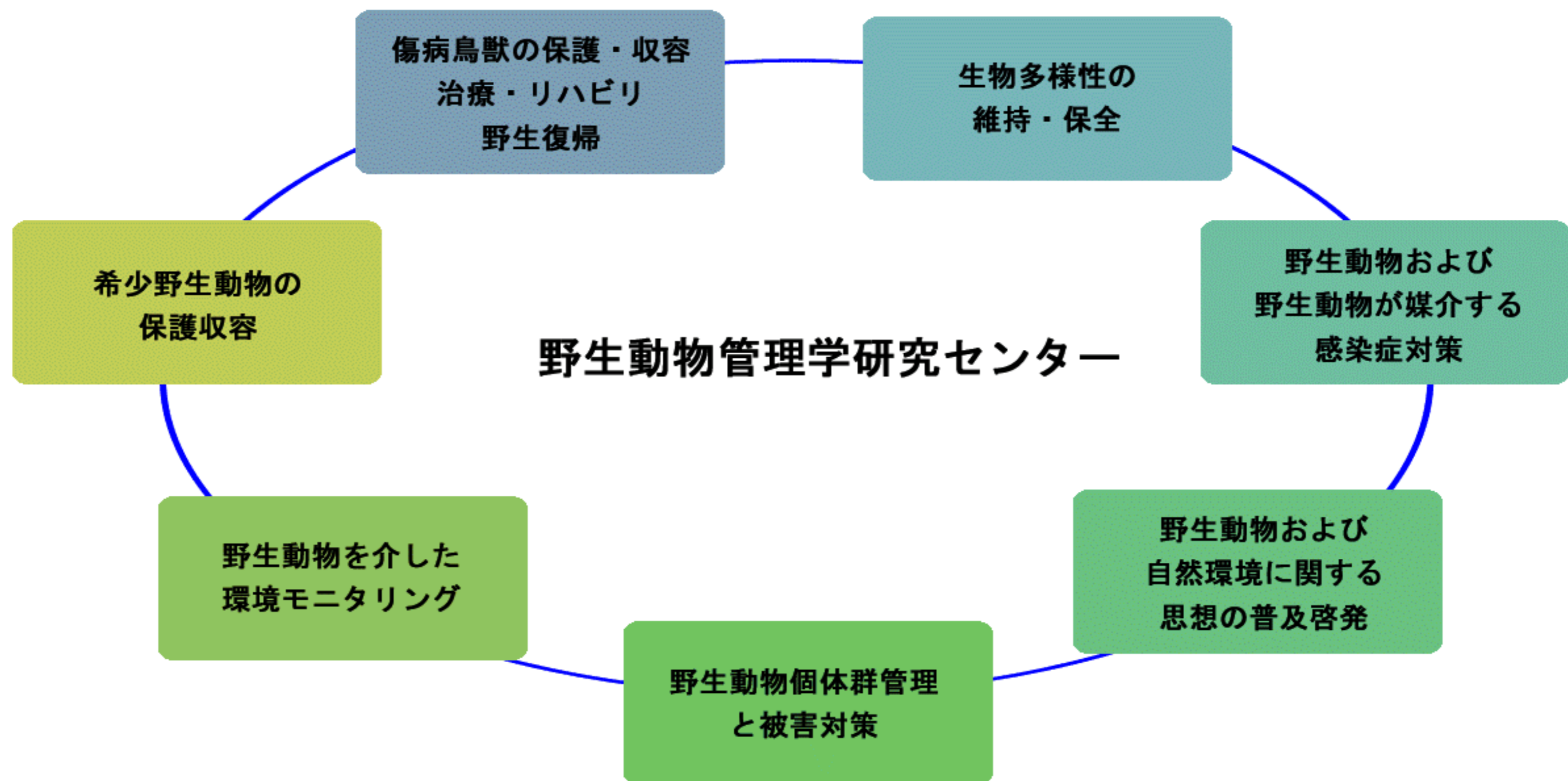


センターの概要



目標と目的

本センターは生物多様性と自然環境の保全を目標とする諸学問を推進し、それに関連する教育、研究および人材育成を目標としております。本センターの目的として以下の7項目を掲げて教育と文化活動を展開しています。



施設

診療棟、入院棟、フライングケージ、水鳥用中型ケージ、大型鳥類用ケージ、小型鳥類用ケージ、哺乳類用運動場などの施設を有しております。



診療棟と入院棟



診察室



手術室



小型鳥類用ケージ



フライングケージ



水鳥用中型ケージ



大型鳥類用ケージ



哺乳類用運動場

センターの概要



センター活動

2009. 04. 03 第147回日本獣医学会学術集会「若手研究者によるクマの保全医学的研究」にて講演（岡野）
2009. 04. 04 第1回 野生動物管理学研究センター施設見学会
2009. 04. 06 第2回 野生動物管理学研究センター施設見学会
2009. 04. 08 第3回 野生動物管理学研究センター施設見学会
2009. 04. 10 第4回 野生動物管理学研究センター施設見学会
2009. 04. 15 第5回 野生動物管理学研究センター施設見学会
2009. 05. 02 河川環境楽園「身近な野鳥展」にてセンター活動をパネル展示（原口）
～06
2009. 05. 18 振興局野生傷病鳥獣救護講習会開催（浅野、岡野）
2009. 05. 22 岐阜県獣医師会研修会にて講演
「ワイルドライフマネジメント（野生動物管理）における野生動物救護～岐阜大学のこころみ～」（浅野）
2009. 05. 31 第17回学生リハビリテーター養成講習会・座学（鈴木、浅野、岡野）
2009. 06. 01～ 第17回学生リハビリテーター養成講習会・実技（岡野、原口、伊藤）
2009. 06. 10 第1回学生リハビリテーター勉強会
2009. 06. 12 小学校4年対象総合学習にて講義
「カモの生態と見分け方と傷病鳥獣救護について」（岡野）
2009. 06. 20 第7回野生動物管理学研究センターセミナー
「ヒグマ保護管理の課題；管理システム構築と富の地域社会への還元へ向けて」間野勉氏
2009. 06. 24 第2回学生リハビリテーター勉強会
2009. 06. 25 中京テレビ「News リアルタイム」取材・放送
恵那市街地に出没したツキノワグマについて（浅野）
2009. 07. 08 第3回学生リハビリテーター勉強会
2009. 07. 22 第4回学生リハビリテーター勉強会
2009. 07. 27 第5回学生リハビリテーター勉強会
2009. 08. 04 第6回学生リハビリテーター勉強会
2009. 08. 06 「日本まんなか獣害対策シンポジウムinみえ」にて講演
「これからの個体数管理に求められる体制と地方自治体の役割について」（鈴木）
2009. 08. 07 応用生物科学部オープンキャンパスにてセンターの活動を紹介
2009. 08. 17 高校生インターンの受け入れ 傷病鳥獣救護実習
～18
2009. 08. 22 ほねほねサミット2009にてセンター活動と標本を紹介
～23
2009. 08. 26 第7回学生リハビリテーター勉強会
2009. 09. 03 第15回日本野生動物医学会大会に参加・講演・発表（鈴木、浅野、岡野）
～06
2009. 10. 07 第8回学生リハビリテーター勉強会
2009. 10. 14 第9回学生リハビリテーター勉強会
2009. 10. 28 第10回学生リハビリテーター勉強会

センターの概要



センター活動

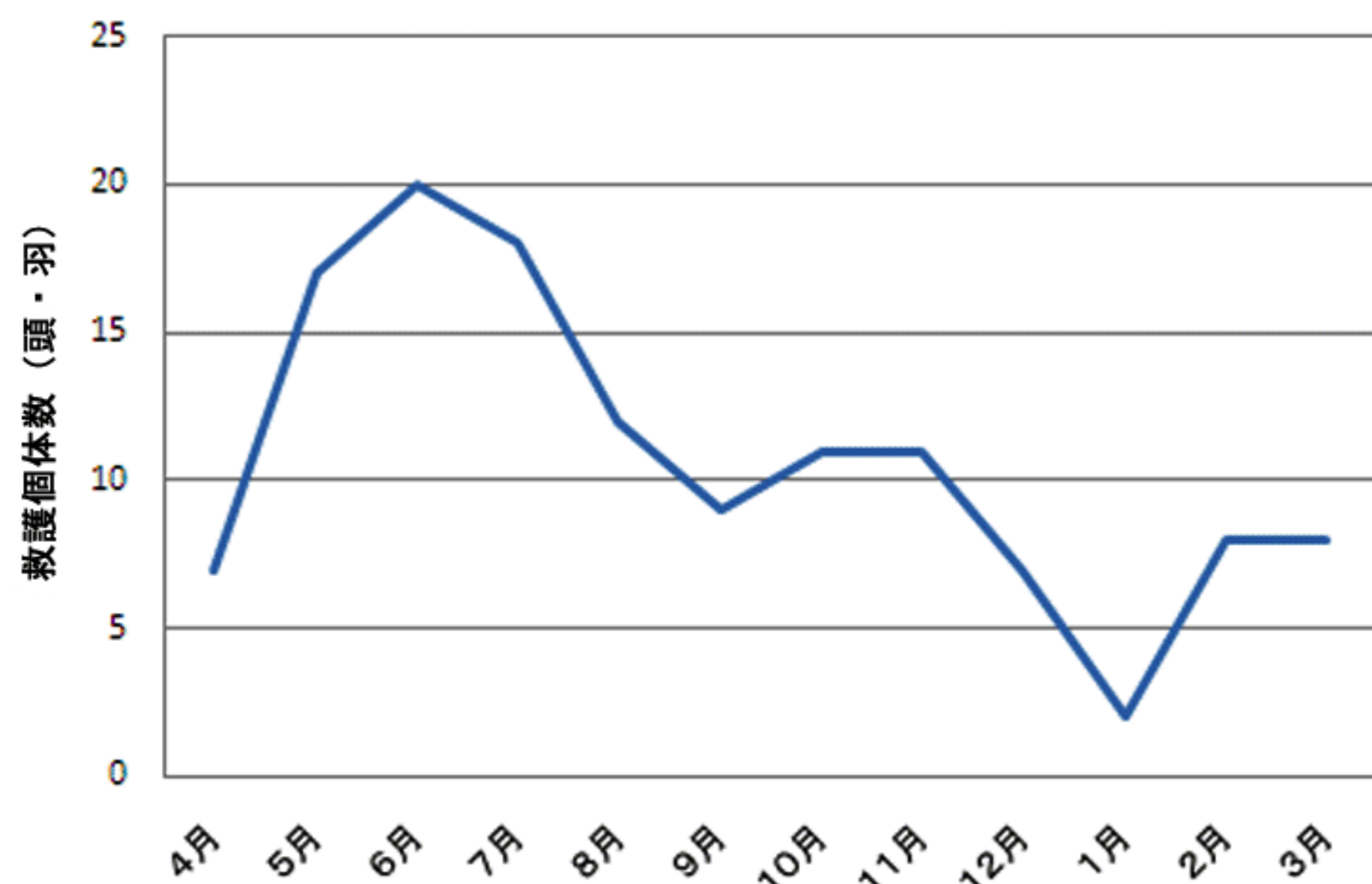
2009. 10. 30 岐阜大学フェア2009にてセンター活動をパネル展示
～31
2009. 11. 06 読売新聞にて野生動物医学研究室紹介 「研究室探訪（15）」（浅野）
2009. 11. 08 岐阜県獣医師会獣医学術研修会にて講演
「野生動物管理学研究センターの現状」（浅野）
2009. 11. 18 第11回学生リハビリテーター勉強会
2009. 11. 29 第18回学生リハビリテーター養成講習会・座学（鈴木、浅野、岡野）
2009. 11. 30～ 第18回学生リハビリテーター養成講習会・実技（岡野、原口、伊藤）
2009. 12. 02 第12回学生リハビリテーター勉強会
2009. 12. 12 第8回野生動物管理学研究センターセミナー
「野生動物がはらむ感染症のリスク」宇根有美氏
2009. 12. 16 第13回学生リハビリテーター勉強会
2010. 01. 01 岐阜新聞に掲載「岐阜大も野生動物救護」（浅野）
2010. 01. 27 第14回学生リハビリテーター勉強会
2010. 01. 31 平成21年度岐阜県野生動物リハビリテーター養成講習会（浅野、岡野、原口、伊藤）
2010. 02. 07 NPO法人野鳥の病院「傷病野生鳥獣保護飼養技術講習会」にて講演
「岐阜県の傷病鳥獣の現状について」（岡野）、「傷病鳥獣救護の意義」（鈴木）
2010. 02. 17 第15回学生リハビリテーター勉強会
2010. 02. 20 第9回野生動物管理学研究センターセミナー
「救護動物を用いた環境教育～そのあり方を考える～」赤木智香子氏
2010. 02. 21 島根県獣医師会「傷病野生鳥獣救護講習会」にて講演
「岐阜県および全国における傷病鳥獣救護状況 - 症例と課題 -」（岡野）
2010. 02. 26 岐阜大学フェアin飛騨高山 にてセンター活動を紹介
2010. 03. 16 日本野生動物医学会SSC (Student Seminar Course) 実施
～19
2010. 03. 26 乗鞍岳で発生したツキノワグマによる人身事故調査報告会（鈴木、浅野）
2010. 03. 29 乗鞍畳平クマ等対策会議にて講演
「ツキノワグマとどう向き合うか？乗鞍岳における人身事故の原因究明と今後の対策を考える」（浅野）



センターの活動内容

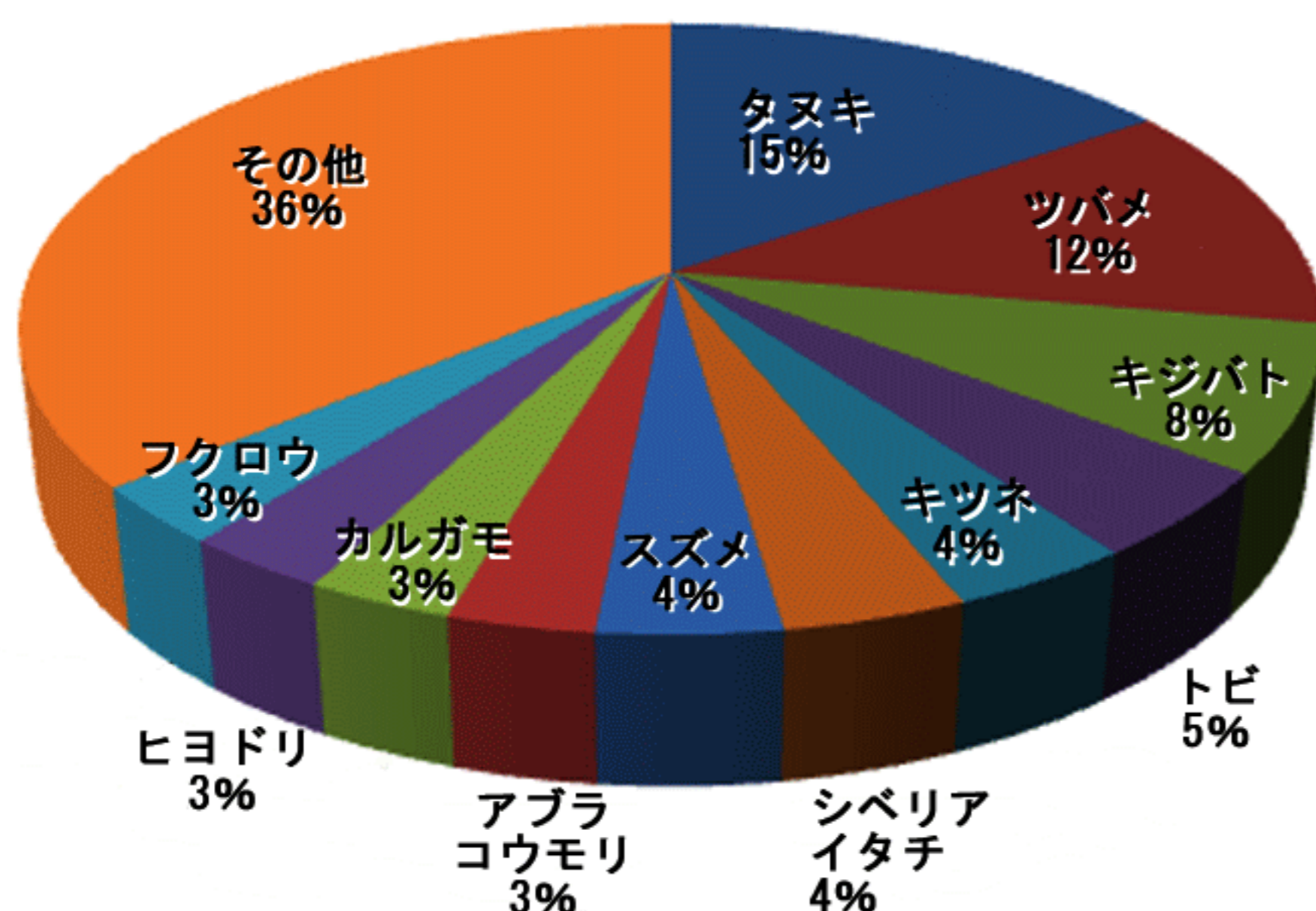


救護状況



◀ 救護個体点数

本センターに運ばれた傷病鳥獣は、鳥類が32種90羽、哺乳類が8種40頭でした。本年度は例年に比べて鳥類の救護数が少なかったですが、哺乳類の救護数は多かったです。

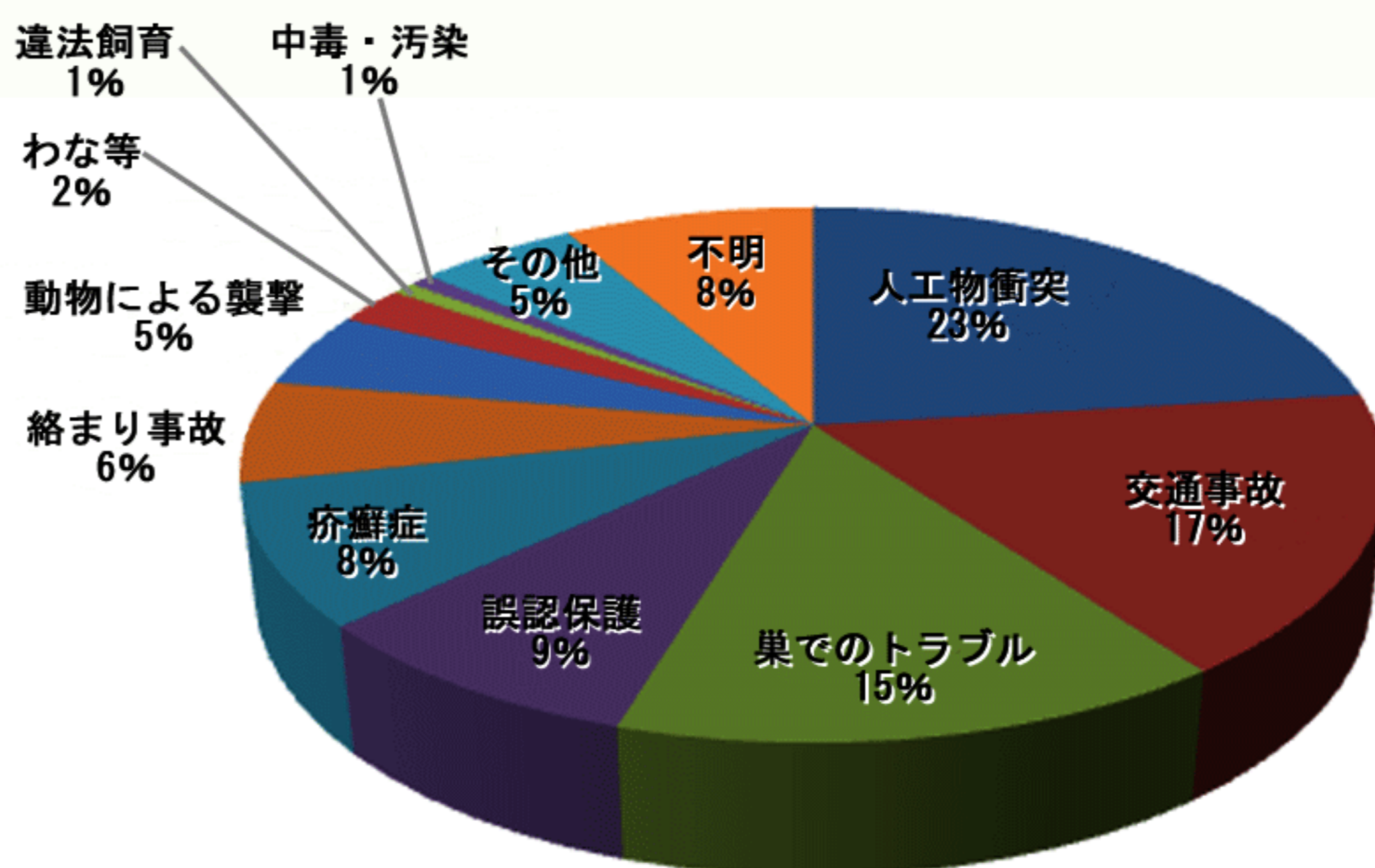


◀ 救護動物種

本年度はタヌキが多く救護され、スズメの救護は例年に比べ少なかったです。また、例年救護されることのほとんどないキツネやメボソムシクイ、オオミズナギドリが、数例ずつ救護されたのも本年度の特徴です。

▶ 救護原因

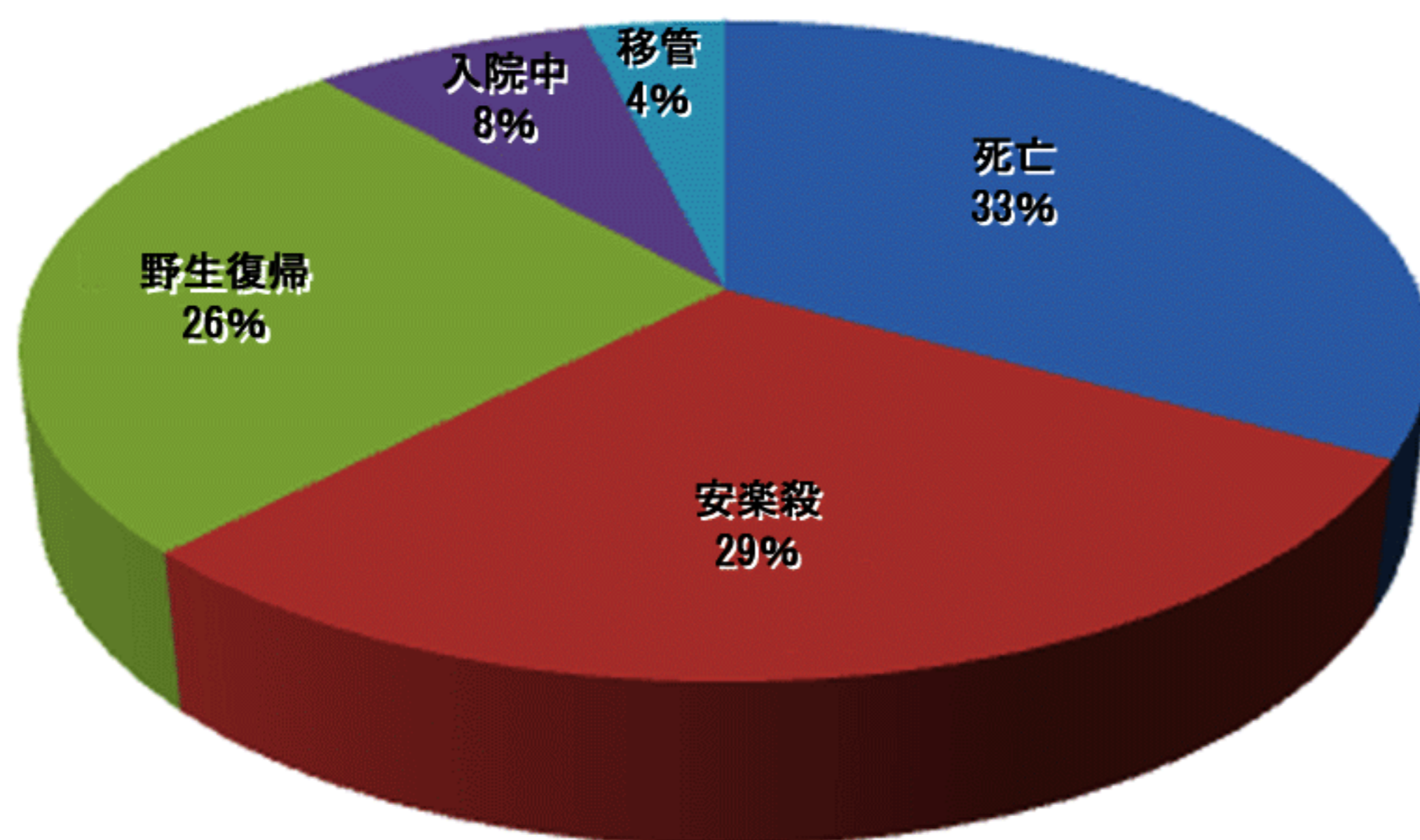
救護原因の上位は例年の傾向通り、人工物衝突、交通事故、巣でのトラブル（ヒナの巣からの落下など）でした。タヌキの疥癬症が多くみられました。本年度から違法飼育押収動物の受け入れを中止しました。



センターの活動内容



救護状況



◀ 転帰

救護された動物の33%が、治療・リハビリのいかいなく死亡し、26%が野生復帰をしました。獣医学的・生態学的な判断から、29%で安楽殺を選択しました。



リハビリテータボランティア活動状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学生	13	12	43	36	19	11	6	11	15	5	3	13	187
市民	7	5	4	3	0	2	2	2	2	7	6	5	45



センターの活動内容



収容結果

個体番号	種名	搬入日	救護地点	転帰
WRC09-001	タヌキ	2009/04/07	美濃加茂市	獣医学的判断により安楽殺
WRC09-002	タヌキ	2009/04/14	瑞穂市	野生復帰
WRC09-003	ケリ	2009/04/21	揖斐川町	死亡
WRC09-004	オオルリ	2009/04/24	不明	入院中
WRC09-005	メジロ	2009/04/27	岐阜市	死亡
WRC09-006	ツバメ	2009/04/27	岐阜市	死亡
WRC09-007	キツネ	2009/04/28	池田町	獣医学的判断により安楽殺
WRC09-008	カモシカ	2009/05/01	御嵩町	野生復帰
WRC09-009	フクロウ	2009/05/05	美濃市	野生復帰
WRC09-010	タヌキ	2009/05/11	岐阜市	野生復帰
WRC09-011	スズメ	2009/05/11	岐阜市	獣医学的判断により安楽殺
WRC09-012	ノウサギ	2009/05/12	郡上市	死亡
WRC09-013	セグロセキレイ	2009/05/14	岐阜市	死亡
WRC09-014	シベリアイタチ	2009/05/14	岐阜市	生態学的判断により安楽殺
WRC09-015	アカエリヒレアシシギ	2009/05/18	郡上市	獣医学的判断により安楽殺
WRC09-016	アオバズク	2009/05/19	山県市	移管
WRC09-017	ツバメ	2009/05/21	岐阜市	野生復帰
WRC09-018	ツバメ	2009/05/25	可児市	獣医学的判断により安楽殺
WRC09-019	カルガモ	2009/05/25	羽島市	野生復帰
WRC09-020	トビ	2009/05/26	美濃加茂市	野生復帰
WRC09-021	オオタカ	2009/05/27	関市	死亡
WRC09-022	キジバト	2009/05/27	関市	野生復帰
WRC09-023	ツバメ	2009/05/28	岐阜市	野生復帰
WRC09-024	カルガモ	2009/05/30	岐阜市	野生復帰
WRC09-025	カルガモ	2009/06/03	瑞穂市	獣医学的判断により安楽殺
WRC09-026	ツバメ	2009/06/03	岐阜市	野生復帰
WRC09-027	ドバト	2009/06/05	岐阜市	生態学的判断により安楽殺
WRC09-028	ドバト	2009/06/05	岐阜市	生態学的判断により安楽殺
WRC09-029	タヌキ	2009/06/05	山県市	獣医学的判断により安楽殺
WRC09-030	キジバト	2009/06/08	各務原市	死亡
WRC09-031	スズメ	2009/06/09	岐阜市	野生復帰
WRC09-032	ツバメ	2009/06/11	岐阜市	死亡
WRC09-033	ツバメ	2009/06/11	関市	獣医学的判断により安楽殺
WRC09-034	ツバメ	2009/06/15	岐阜市	移管
WRC09-035	ツバメ	2009/06/15	岐阜市	死亡
WRC09-036	チョウゲンボウ	2009/06/16	大垣市	野生復帰
WRC09-037	スズメ	2009/06/16	岐阜市	死亡
WRC09-038	ツバメ	2009/06/17	瑞穂市	野生復帰
WRC09-039	ツバメ	2009/06/17	郡上市	野生復帰
WRC09-040	フクロウ	2009/06/19	高山市	獣医学的判断により安楽殺
WRC09-041	ツバメ	2009/06/25	本巣市	移管
WRC09-042	ツバメ	2009/06/25	本巣市	死亡
WRC09-043	ムササビ	2009/06/29	瑞穂市	獣医学的判断により安楽殺
WRC09-044	ササゴイ	2009/06/30	下呂市	野生復帰
WRC09-045	キジバト	2009/07/01	岐阜市	獣医学的判断により安楽殺

センターの活動内容



収容結果

個体番号	種名	搬入日	救護地点	転帰
WRC09-046	シベリアイタチ	2009/07/01	大垣市	生態学的判断により安楽殺
WRC09-047	ヒヨドリ	2009/07/01	岐阜市	獣医学的判断により安楽殺
WRC09-048	キツネ	2009/07/07	関市	死亡
WRC09-049	シベリアイタチ	2009/07/07	本巣市	生態学的判断により安楽殺
WRC09-050	アブラコウモリ	2009/07/08	揖斐川町	死亡
WRC09-051	キジバト	2009/07/09	岐阜市	死亡
WRC09-052	カワセミ	2009/07/13	岐阜市	野生復帰
WRC09-053	シベリアイタチ	2009/07/14	大垣市	野生復帰
WRC09-054	ツバメ	2009/07/14	各務原市	移管
WRC09-055	スズメ	2009/07/16	岐阜市	死亡
WRC09-056	アブラコウモリ	2009/07/24	岐阜市	野生復帰
WRC09-057	ヨタカ	2009/07/24	高山市	死亡
WRC09-058	トビ	2009/07/30	下呂市	獣医学的判断により安楽殺
WRC09-059	ヒヨドリ	2009/07/30	岐阜市	死亡
WRC09-060	トビ	2009/07/30	瑞穂市	獣医学的判断により安楽殺
WRC09-061	ツバメ	2009/07/31	岐阜市	死亡
WRC09-062	アブラコウモリ	2009/07/31	岐阜市	死亡
WRC09-063	アオサギ	2009/08/03	瑞穂市	野生復帰
WRC09-064	キツネ	2009/08/04	山県市	野生復帰
WRC09-065	ツバメ	2009/08/04	郡上市	死亡
WRC09-066	ムササビ	2009/08/05	岐阜市	入院中
WRC09-067	オオタカ	2009/08/06	安八町	死亡
WRC09-068	キジバト	2009/08/12	岐阜市	野生復帰
WRC09-069	キジバト	2009/08/12	岐阜市	野生復帰
WRC09-070	アオバズク	2009/08/18	関市	死亡
WRC09-071	アオサギ	2009/08/21	岐阜市	獣医学的判断により安楽殺
WRC09-072	スズメ	2009/08/26	岐阜市	移管
WRC09-073	アカショウビン	2009/08/26	岐阜市	死亡
WRC09-074	タヌキ	2009/08/31	可児市	死亡
WRC09-075	コサギ	2009/09/01	安八町	獣医学的判断により安楽殺
WRC09-076	シベリアイタチ	2009/09/07	本巣市	生態学的判断により安楽殺
WRC09-077	ゴイサギ	2009/09/08	笠松町	獣医学的判断により安楽殺
WRC09-078	ニホンジカ	2009/09/14	本巣市	野生復帰
WRC09-079	チュウサギ	2009/09/16	揖斐川町	獣医学的判断により安楽殺
WRC09-080	ヒヨドリ	2009/09/16	郡上市	野生復帰
WRC09-081	チュウサギ	2009/09/18	各務原市	死亡
WRC09-082	ムササビ	2009/09/25	郡上市	入院中
WRC09-083	チュウサギ	2009/09/29	下呂市	獣医学的判断により安楽殺
WRC09-084	メボソムシクイ	2009/10/02	岐阜市	死亡
WRC09-085	メボソムシクイ	2009/10/05	岐阜市	死亡
WRC09-086	タヌキ	2009/10/05	岐阜市	野生復帰
WRC09-087	トビ	2009/10/06	岐阜市	獣医学的判断により安楽殺
WRC09-088	メボソムシクイ	2009/10/07	瑞穂市	野生復帰
WRC09-089	オオタカ	2009/10/09	美濃加茂市	入院中
WRC09-090	トビ	2009/10/09	郡上市	死亡

センターの活動内容



収容結果

個体番号	種名	搬入日	救護地点	転帰
WRC09-091	カルガモ	2009/10/13	関市	死亡
WRC09-092	ダイサギ	2009/10/21	岐阜市	死亡
WRC09-093	キツネ	2009/10/22	関市	獣医学的判断により安楽殺
WRC09-094	ヤマシギ	2009/10/27	岐阜市	野生復帰
WRC09-095	キジバト	2009/11/02	瑞穂市	獣医学的判断により安楽殺
WRC09-096	オオミズナギドリ	2009/11/04	本巣市	死亡
WRC09-097	タヌキ	2009/11/06	可児市	獣医学的判断により安楽殺
WRC09-098	フクロウ	2009/11/06	高山市	獣医学的判断により安楽殺
WRC09-099	タヌキ	2009/11/09	岐阜市	入院中
WRC09-100	タヌキ	2009/11/10	美濃加茂市	死亡
WRC09-101	キジバト	2009/11/11	岐阜市	死亡
WRC09-102	オオミズナギドリ	2009/11/20	関市	野生復帰
WRC09-103	タヌキ	2009/11/24	岐阜市	死亡
WRC09-104	オオコノハズク	2009/11/24	多治見市	入院中
WRC09-105	アオバト	2009/11/25	岐阜市	入院中
WRC09-106	タヌキ	2009/12/01	岐阜市	入院中
WRC09-107	キジバト	2009/12/01	本巣市	野生復帰
WRC09-108	トビ	2009/12/01	瑞穂市	獣医学的判断により安楽殺
WRC09-109	オオコノハズク	2009/12/02	白川町	野生復帰
WRC09-110	タヌキ	2009/12/04	岐阜市	死亡
WRC09-111	アオバト	2009/12/07	可児市	死亡
WRC09-112	フクロウ	2009/12/22	多治見市	獣医学的判断により安楽殺
WRC09-113	キツネ	2010/01/12	瑞穂市	死亡
WRC09-114	アブラコウモリ	2010/01/21	各務原市	死亡
WRC09-115	タヌキ	2010/02/04	山県市	死亡
WRC09-116	タヌキ	2010/02/05	岐阜市	獣医学的判断により安楽殺
WRC09-117	チョウゲンボウ	2010/02/09	岐阜市	死亡
WRC09-118	トラフズク	2010/02/09	大野町	野生復帰
WRC09-119	タヌキ	2010/02/15	可児市	入院中
WRC09-120	ゴイサギ	2010/02/16	瑞穂市	野生復帰
WRC09-121	シメ	2010/02/18	瑞浪市	死亡
WRC09-122	タヌキ	2010/02/24	岐阜市	入院中
WRC09-123	タヌキ	2010/03/01	岐阜市	死亡
WRC09-124	アオバト	2010/03/02	岐阜市	獣医学的判断により安楽殺
WRC09-125	ヒヨドリ	2010/03/11	岐阜市	死亡
WRC09-126	キジバト	2010/03/12	岐阜市	獣医学的判断により安楽殺
WRC09-127	タヌキ	2010/03/15	岐阜市	野生復帰
WRC09-128	タヌキ	2010/03/16	瑞浪市	獣医学的判断により安楽殺
WRC09-129	コサギ	2010/03/17	本巣市	獣医学的判断により安楽殺
WRC09-130	タヌキ	2010/03/23	岐阜市	獣医学的判断により安楽殺

センターの活動内容



シンポジウム

日本まんなか獣害対策シンポジウム in みえ

【1日目】

日時：平成21年8月6日(木)13:00~17:00

会場：松阪市コミュニティ文化センターホール 参加者：310名

- ・鳥獣被害防止特措法と鳥獣害防止総合対策事業の全国の取り組み状況について
農林水産省生産局農業生産支援課鳥獣被害対策室
- ・これからの個体数管理に求められる体制と地方自治体の役割について
岐阜大学応用生物科学部 鈴木正嗣
- ・事例から学ぶ営農のための鳥獣被害対策について
(独)農研機構近中四農研センター 井上雅央氏
- ・三重県内における獣害につよい集落づくりについて
県、研究、普及、市町、地域リーダー
- ・地域主体の総合的取り組みに関するパネルディスカッション

【2日目】

三重県内における現地見学

日時：平成21年8月7日(金)9:00~13:00

<Aコース> 獣害につよい集落づくりの取組事例—大台町滝広地区 参加者：120名

<Bコース> ニホンジカの森林被害—大紀町紀勢地区 参加者：30名

<共催>

東海農政局

三重県

全国山村振興連盟三重県支部

三重県市町村林野振興協議会



セミナー



第7回セミナー

第7回野生動物管理学研究セミナー

日時：平成21年6月20日(土)

会場：岐阜大学応用生物科学部棟104教室

演題：ヒグマ保護管理の課題

—管理システムの構築と富の地域社会への還元へ向けて—

講師：北海道大学大学院地球環境研究科非常勤講師

酪農学園大学環境システム学部非常勤講師

北海道環境科学研究センター

間野 勉 氏

参加者：23名



第8回セミナー

第8回野生動物管理学研究セミナー

日時：平成21年12月12日(土)

会場：岐阜大学応用生物科学部棟101教室

演題：野生動物がはらむ感染症のリスク

講師：麻布大学獣医学科病理学研究室

宇根 有美 氏

参加者：20名



第9回セミナー

第9回野生動物管理学研究セミナー

日時：平成22年2月20日(土)

会場：岐阜大学応用生物科学部棟104教室

演題：救護動物を用いた環境教育～そのあり方を考える～

講師：ラプター・フォレスト 代表

赤木 智香子 氏

参加者：29名

センターの活動内容



普及活動



振興局傷病野生動物救護講習会
日時：5月18日(月)13:30~15:30
会場：野生動物管理学研究センター
連合獣医学研究科棟6階
内容：
〈実技〉捕獲・運搬・ハンドリング
鳥インフルエンザの簡易検査
〈座学〉野生動物救護について
野鳥ヒナの救護
講師：浅野、岡野
受講者：17名



第17回学生リハビリテーター養成講習会
日時：5月31日(日)10:30~14:30
会場：連合獣医学研究科棟6階
内容：野生動物救護の意義
野生動物リハビリテーターとは
人と動物の共通感染症
野生動物の現状と生息環境の変化
の関係
学生リハビリテーターの活動紹介
講師：鈴木、浅野、岡野
受講者：40名



第18回学生リハビリテーター養成講習会
日時：11月29日(土)10:30~14:30
会場：連合獣医学研究科棟2階
内容：野生動物救護の意義
野生動物リハビリテーターとは
人と動物の共通感染症
野生動物の現状と生息環境の変化
の関係
学生リハビリテーターの活動紹介
講師：鈴木、浅野、岡野
受講者：14名



岐阜県野生動物リハビリテーター養成講習会
日時：1月31日(日)10:00~15:30
会場：野生動物管理学研究センター
連合獣医学研究科棟6階
主催：岐阜県地球環境課
内容：
〈座学〉傷病鳥獣とその保護飼育の意義・目的
リハビリテーターの活動内容
野生鳥獣の保護飼育に関する法令
鳥類の構造とその機能
動物由来感染症
センターにおける救護の概要
傷病鳥獣の救護の実態と問題点
〈実技〉ハンドリング実習
応急処置
栄養実習
飼養管理実習
講師：浅野、原口、伊藤、山崎(岐阜県)、岡野
受講者：16名



岐阜県野生動物リハビリテーター研修会
日時：3月7日(日)13:00~16:00
会場：連合獣医学研究科棟6階
主催：岐阜県地球環境課
内容：講演「子供たちへの環境教育」
講師・野生動物救護獣医師会岐阜県支部長 大塩哲也氏
傷病鳥獣保護の事例発表
岐阜県野生動物リハビリテーター2組
など
受講者：21名

センターの活動内容



センター紹介

「身近な野鳥展」にて、パネル展示
日時：平成21年5月2日(土)～6日(水)
場所：河川環境楽園
参加者：のべ1672名

「岐阜大学オープンキャンパス2009」にて、センター紹介
日時：平成21年8月7日(金)
場所：野生動物管理学研究センター
参加者：約500名

「岐阜大学フェア2009 in 岐阜大学キャンパス」にて、パネル展示
日時：平成21年10月30日(金)、31日(土)
場所：岐阜大学第二食堂ほか

「岐阜大学フェア in 飛騨高山」にて、パネル展示
日時：平成22年2月26日(金)
場所：ひだホテルプラザ



岐阜大学オープンキャンパス2009



学生リハビリテーター勉強会

第1回学生リハビリテーター勉強会
日時：平成21年6月10日(金)12:10～12:40
演題：ツバメの生態と症例 講師：岡野 参加者：38名

第2回学生リハビリテーター勉強会
日時：平成21年6月24日(水)12:10～12:40
演題：タヌキの生態と症例 講師：岡野 参加者：29名

第3回学生リハビリテーター勉強会
日時：平成21年7月8日(水)12:10～12:40
演題：幼鳥・幼獣の誤認救護 講師：岡野 参加者：23名

第4回学生リハビリテーター勉強会
日時：平成21年7月22日(水)12:10～12:40
演題：スズメの生態と症例 講師：岡野 参加者：20名

第5回学生リハビリテーター勉強会
日時：平成21年7月27日(月)14:30～15:00
演題：対馬の動物たち 講師：対馬野生生物保護センター 川口 誠 氏 参加者：21名

第6回学生リハビリテーター勉強会
日時：平成21年8月4日(火)12:00～12:30
演題：奄美の動物たち 講師：伊藤 参加者：約20名

第7回学生リハビリテーター勉強会
日時：平成21年8月26日(水)13:00～14:00
内容：鳥類の採血と血液検査(実技) 参加者：約6名



第2回学生リハビリテーター勉強会



ツシマヤマネコ
第5回学生勉強会講師・川口誠氏撮影
対馬野生生物保護センター提供

センターの活動内容



学生リハビリテーター勉強会

第8回学生リハビリテーター勉強会

日時：平成21年10月7日（水）12:00～12:30

演題：シナントロプ種とは？—人の生活に入ってきた動物たち—

講師：岡野 参加者：17名

第9回学生リハビリテーター勉強会

日時：平成21年10月14日（水）12:10～12:40

演題：鷹匠技術について

講師：野田真一氏、後藤真理氏 参加者：26名

第10回学生リハビリテーター勉強会

日時：平成21年10月28日（水）12:10～12:40

演題：チンパザザでの日々—協力隊活動を通して—

講師：元・青年海外協力隊生態調査隊員 箭内緑氏 参加者：20名

第11回学生リハビリテーター勉強会

日時：平成21年11月18日（水）12:10～12:40

演題：全国の傷病鳥獣救護状況—全国アンケート調査結果—

講師：岡野 参加者：17名

第12回学生リハビリテーター勉強会

日時：平成21年12月2日12:10～12:40

演題：猛禽類って何だろう？センターの猛禽類とは

講師：野生動物医学研究室 山崎翔気氏 参加者：20名

第13回学生リハビリテーター勉強会

日時：平成21年12月16日（水）12:10～12:40

演題：遺体科学の紹介 講師：野生動物医学研究室 早川大輔氏

参加者：19名

第14回学生リハビリテーター勉強会

日時：平成22年1月27日（水）12:10～12:40

演題：野鳥の食生活を垣間見る—野生下での食性を知る・鳥編—

講師：原口 参加者：13名

第15回学生リハビリテーター勉強会

日時：平成22年2月17日（水）12:10～12:40

演題：鳥の臨床 講師：伊藤 参加者：17名



バオバブの木
第10回学生勉強会講師・箭内緑氏撮影



第13回学生リハビリテーター勉強会



第14回学生リハビリテーター勉強会



論文

1. Hayakawa, D., Sasaki, M., Suzuki, M., Tsubota, T., Igota, H., Kaji, K., Kitamura, N. 2009, Immunohistochemical localization of steroidogenic enzymes in the testis of the sika deer (*Cervus nippon*) during developmental and seasonal changes. *J. Reprod. Dev.* Nov. 19. [Epub ahead of print]
2. Jilintai, Seino N., Hayakawa, D., Suzuki, M., Hata, H., Kondo, S., Matsumoto, K., Yokoyama, N., Inokuma, H. 2009. Molecular survey for *Anaplasma bovis* and *Anaplasma phagocytophilum* infection in cattle in a pastureland where sika deer appear in Hokkaido, Japan. *Jpn. J. Infect. Dis.* **62**: 73-75.
3. Kato, T., Ichida, Y., Tei, K., Asano, M., Hayama, S. 2009. Reproductive characteristics of feral raccoons (*Procyon lotor*) captured by the pest control in Kamakura, Japan. *J. Vet. Med. Sci.* **71**: 1473-1478.
4. Kubo, M., Matsuo, Y., Okano, T., Sakai, H., Masegi, T., Asano, M., Yanai, T. 2009. Nasal neuroendocrine carcinoma in a free-living Japanese raccoon dog (*Nyctereutes procyonoides viverrinus*). *J. Comp. Pathol.* **140**: 67-71.
5. Kubo, M., Okano, T., Ito, K., Sakai, H., Yanai, T. 2009. Muscular sarcocystosis in wild carnivores in Honshu, Japan. *Parasitol. Res.* **106**: 213-219.
6. Nakagawa, E., Kobayashi, M., Suzuki, M., Tsubota, T. 2009. Growth variation in skull morphology of Kuril harbor seals (*Phoca vitulina stejnegeri*) and spotted seals (*Phoca largha*) in Hokkaido, Japan. *Jpn. J. Vet. Res.* **57**:147-162.
7. Nakagawa, T. L. D. R., Takai, Y., Kubo, M., Sakai, H., Masegi, T., Yanai, T. 2009. A pathological study of sepsis associated with sarcoptic mange in raccoon dogs (*Nyctereutes procyonoides*) in Japan. *J. Comp. Pathol.* **141**: 177-181.
8. Nakamura, S., Nishii, N., Yamanaka, A., Kitagawa, H., Asano, M., Tsubota, T., Suzuki, M. 2009. Leptin Receptor (Ob-R) expression in the ovary and uterus of the wild Japanese black bear (*Ursus thibetanus japonicus*). *J. Reprod. Dev.* **55**: 110-115.
9. Okano, T., Murase, T., Nakamura, S., Komatsu, T., Tsubota, T., Asano, M. 2009. Normal sperm morphology and changes of semen characteristics and abnormal morphological spermatozoa among peri-mating seasons in captive Japanese black bears (*Ursus thibetanus japonicus*). *J. Reprod. Dev.* **55**: 194-199.
10. Saito, K., Kodama, A., Yamaguchi, T., Gotoh, Y., Sakai, H., Fukushi, H., Masegi, T., Yanai, T. 2009. Avian pox virus infection in a white-tailed sea eagle (*Haliaeetus albicalla*) in Japan. *Avian. Pathol.* **38**: 485-489.
11. Takayama, I., Kubo, M., Takenaka, A., Fujita, K., Sugiyama, T., Arai, T., Yoneda, M., Sato, H., Yanai, T., Kai, C. 2009. Pathological and phylogenetic features of prevalent canine distemper viruses in wild masked palm civets in Japan. *Comp. Immuno. Microbio. Dis.* **32**:539-549.
12. Yanagawa, Y., Matsuura, Y., Suzuki, M., Saga, S., Okuyama, H., Fukui, D., Bandou, G., Katagiri, S., Takahashi, Y., Tsubota, T. 2009. Fetal age estimation of Hokkaido sika deer (*Cervus nippon yesoensis*) using ultrasonography during early pregnancy. *J. Reprod. Dev.* **55**: 143-148.



その他

1. 浅野玄. 2009. アライグマ問題から学ぶべきこと. 森林技術 803: 12-13.
2. 乗鞍クマ人身事故調査プロジェクトチーム, 岐阜大学応用生物科学部附属野生動物管理学研究センター. 2010. 乗鞍岳で発生したツキノワグマによる人身事故の調査報告書

業績及び出版物



学会発表（一般口頭・ポスター）

1. Kubo, M., Yasuda, N., Miyoshi, N., Sakai, H., Yanai, T. Parasitic diseases in Japanese wild felids. The 3rd International Workshop of Asian Society of Zoo and Wildlife Medicine. (2009 Aug, Seoul).
2. Murai, A., Murakami, M., Sakai, H., Shimizu, H., Murata, K., Yanai, T. Glomerular lipidoses and renal tubular oxalosis in wild and captured Japanese rock ptarmigan (*Lagopus mutus japonicus*). The 3rd International Workshop of Asian Society of Zoo and Wildlife medicine. (2009 Aug, Seoul).
3. Yanai, T., Murakami, M., Sakai, H., Kano, R. 2009. Aspergillosis in wild and captive birds in Japan. The 17th Congress of the International Society for Human and Animal Mycology. (2009 May, Tokyo).
4. 岡野司, 浅野玄, 鈴木正嗣. 全国の傷病鳥獣救護状況. 第15回日本野生動物医学会大会. (2009年9月, 富山)
5. 久保正仁, 宇仁茂彦, 吾妻健, 坪田敏男, 佐々木基樹, 酒井洋樹, 柵木利昭, 柳井徳麿. *Hepatozoon ursi*: ツキノワグマにおける新種の住血原虫. 第147回日本獣医学会学術集会. (2009年4月, 宇都宮)
6. 久保正仁, 岡野司, 酒井洋樹, 柳井徳麿. 日本産食肉目における住肉胞子虫症. 第15回日本野生動物医学会大会. (2009年9月, 富山).
7. 舟橋めぐみ, 小川恵子, 岡野司, 浅野玄, 大屋憲司, 鈴木正嗣, 福士秀人. 救護活動が野生動物に与える影響の細菌学的評価—野生動物管理学研究センターにおける野生動物由来大腸菌の薬剤耐性—. 第149回日本獣医学会学術集会. (2010年3月, 武蔵野)



学会シンポジウム・自由集会等

1. 安藤正規, 芝原淳. 中山間地における鳥獣害の実態と対策. 第47回畑地かんがい研究集会講演会「地域の特色を活かした畑地農業の展開」(2009年9月, 岐阜)
2. 岡野司. ツキノワグマの精液凍結保存. 第147回日本獣医学会学術集会・日本野生動物医学会. シンポジウム「若手研究者によるクマの保全医学的研究」(2009年4月, 宇都宮)
3. 岡野司. 種の保存法と傷病鳥獣救護. 第15回日本野生動物医学会大会. シンポジウム「新時代の傷病鳥獣救護～課題の整理と解決に向けて～(コーディネーター: 鈴木正嗣)」(2009年9月, 富山)
4. 浅野玄. 野生動物の安楽死. 第15回日本野生動物医学会大会. シンポジウム「野生動物医学における動物福祉」(2009年9月, 富山)



他機関等への標本提供

(「研究題目」、研究代表者(所属)、提供物品及び情報等)

1. 「様々な野生動物の舌の走査型電子顕微鏡による観察」、江村正一(岐阜大学医学部)、野生動物の舌
2. 「野鳥における鳥マラリア原虫感染に関する研究」、村田浩一(日本大学生物資源科学部)、鳥類の血液
3. 「ヒトの骨格筋証明法の開発」、宮石智(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科)、タヌキの骨格筋
4. 「猛禽類における遺伝子多型と視覚との関連性」、伊藤慎一(岐阜大学応用生物科学部)、鳥類の血液・肝臓
5. 「食肉目の神経伝達物質関連遺伝子の多型解析」、伊藤慎一(岐阜大学応用生物科学部)、食肉目の肝臓
6. 「鳥取県中西部における疥癬症タヌキの動向」、松本郁実(財鳥取県動物臨床医学研究所) 疥癬症タヌキの収容情報
7. 「東アジアのタヌキの系統地理学および個体群の遺伝学、比較形態学の研究」 木村順平(ソウル大学獣医学部)、タヌキの筋組織
8. 「野生タヌキの糞便中に出現する内部寄生虫の標本化」 井潤美希(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科)、タヌキの糞便
9. 「哺乳類のブドウ球菌属の共進化」、佐々木崇(順天堂大学大学院感染制御学)、鼻腔・会陰部のスワブ検体



新聞掲載・テレビ放送等

著作権保護のため非表示

- ・ 恵那市街地に出没したツキノワグマについて.
中京テレビ「News リアルタイム」取材・放送.
2009年6月25日（取材協力：浅野玄）

著作権保護のため非表示

- ・ 記者発表「乗鞍で発生したツキノワグマによる人身事故 調査報告会」
日時：2010年3月26日午後1時～2時
場所：岐阜大学連合大学院棟6階合同ゼミナール室
説明者：浅野玄・中川恒祐（学生）・鈴木正嗣
乗鞍クマ人身事故調査プロジェクトチーム
応用生物科学部附属野生動物管理学研究センター
取材報道機関：NHK岐阜・岐阜チャン・CBCテレビ・中京テレビ
名古屋テレビ・東海テレビ・共同通信・朝日新聞
毎日新聞・読売新聞・中日新聞・岐阜新聞

著作権保護のため非表示

組織と運営

■ 運営協議会と会議メンバー

野生動物管理学研究センター運営協議会

運営協議員／併任教員

鈴木正嗣（センター長）

河合啓一 北川 均

鬼頭克也 杉山 誠

土井 守 柳井徳磨

福士秀人 浅野 玄

石田 仁 安藤正規

楠田哲士

正者正成（応用生物科学部事務長）

野生動物管理学研究センター会議メンバー

鈴木正嗣（センター長）

浅野 玄（教員）

岡野 司（岐阜県非常勤獣医師）

原口句美（リハビリテータ）

伊藤圭子（リハビリテータ）

■ 運営経費（単位：千円）

岐阜大学	政策経費	4,300
	教育管理研究費	1,000
岐阜県	運営負担金	3,609

合計 8,909

（※県非常勤獣医師人件費は除く）

■ 寄付一覧 （多くの寄付をいただいております。厚くお礼申し上げます。） 順不同・敬称略

〈企業〉（株）後藤孵卵場
JA岐阜農産物流通センター

〈学内研究室〉
動物内分泌学研究室
獣医解剖学研究室
獣医生理学研究室

〈個人〉 加藤友紀子
井口吉明
小林周平
近藤麻実
下田祥子
須藤明子
武田 陽
松尾ほだか
森元萌弥
八代田千鶴
横山寿美江



あとがき

岐阜県環境生活部長 富田 成輝

大学と県による野生動物管理学研究センター野生動物救護室の共同運営が始まって2年が経ちましたが、この間に多くの野生動物がセンターに搬送され、センターのスタッフをはじめ、多くの方々の献身的治療と野生動物リハビリテーターの方々による保護飼養のおかげで再び自然に帰すことができました。

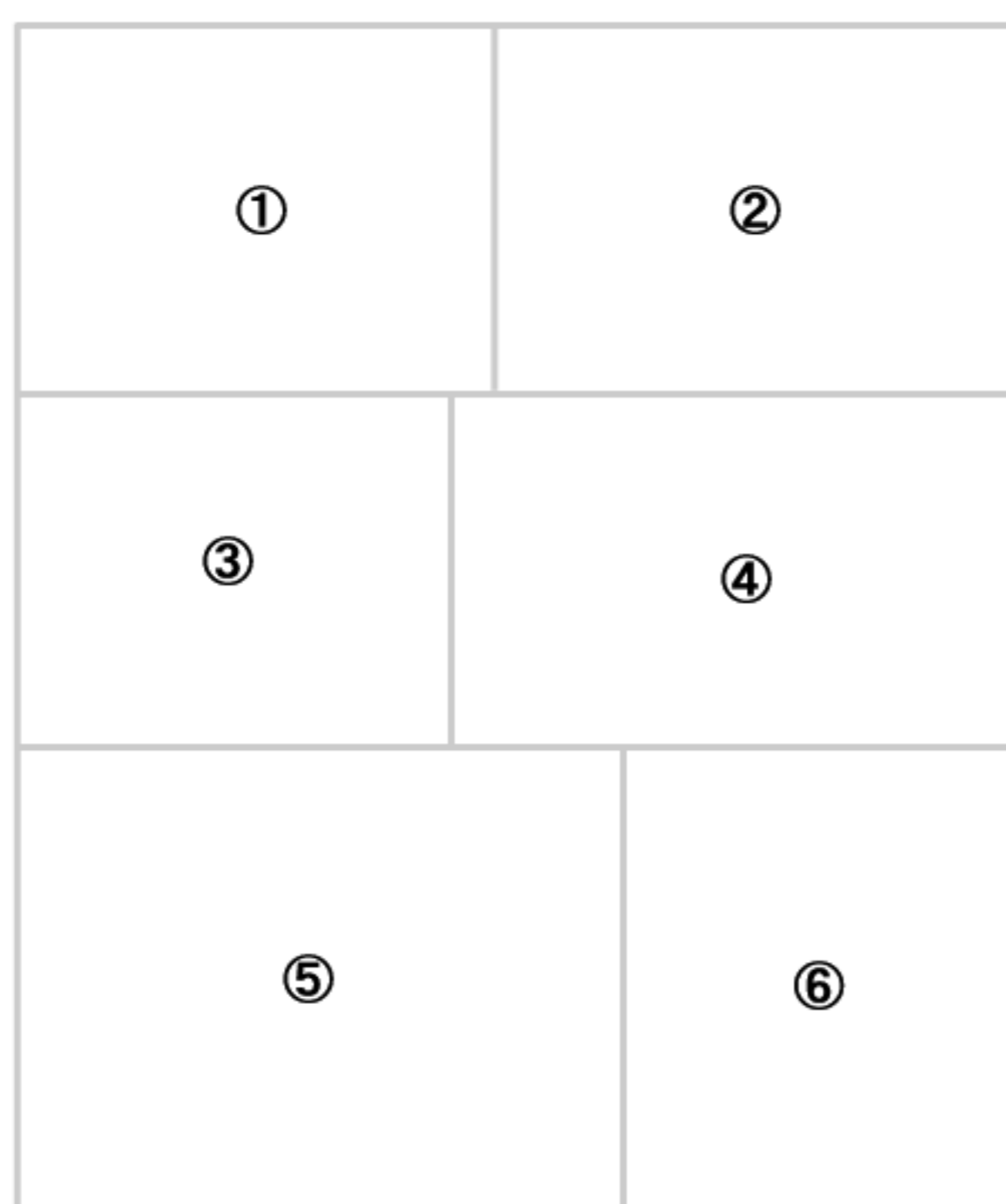
本県は本州のほぼ中央に位置し、北には北アルプスをはじめとする山々が連なり、南には木曾川、長良川及び揖斐川にはぐくまれた濃尾平野が広がっており、その中で全国でも有数といわれる多種多様の野生動物が生息する豊かな環境を有しています。

その一方で、人による様々な社会活動により森林や湿地が減少し、里山や水田などの身近な自然環境も急激に変化してきました。本県に生息する野生鳥獣には絶滅が危惧される希少なものも多く存在しており、これらが傷病鳥獣として同センターに搬送され、治療を受けるケースも少なくありません。

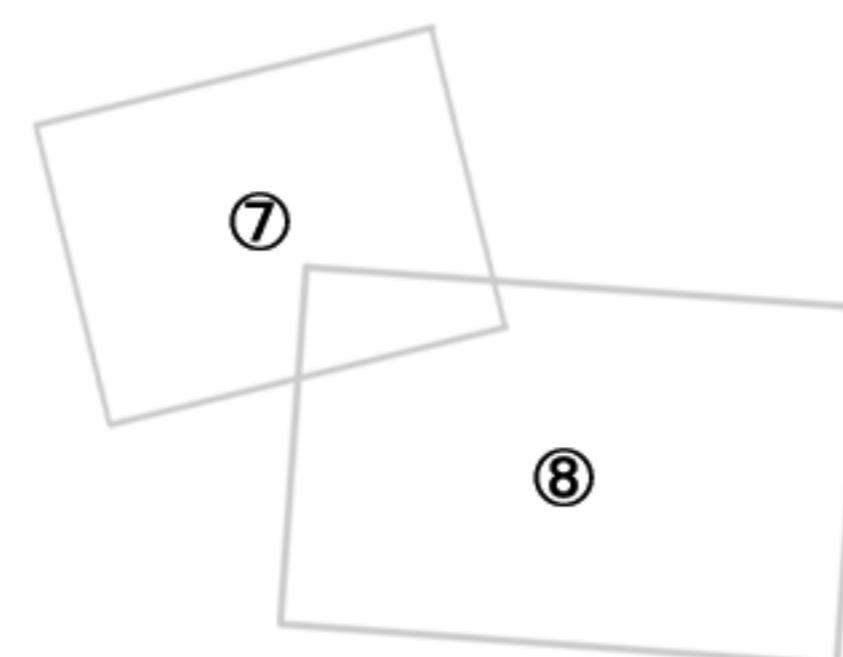
また、昨今、野生動物との関わりにおいて特に注目すべき事項としては、高病原性鳥インフルエンザをはじめとする人と動物の共通感染症への対応があります。本県では、環境省が示した技術対応マニュアルをふまえ、平成21年度に「岐阜県野鳥における高病原性鳥インフルエンザ対応マニュアル」を作成し、万一の発生時に備えてセンター及び県の関係機関との連携・検査体制を整備しました。

本年10月には名古屋市で生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）が開催されますが、これを契機に県民の自然環境や生物多様性の保全に対する関心も高まりを見せており、傷病鳥獣救護、リハビリ施設の拠点としての同センターが担う役割は益々重要なものとなっています。本県も同センターを中心として、大学、行政関係者、県民の皆さま方の多くのご協力を得ながら野生鳥獣の保護管理に取り組んでいきますので、今後とも皆さま方の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

表紙写真



裏表紙写真



- ①オオタカ ②オオバン
③タマシギ ④キビタキ
⑤ジョウビタキ ⑥ルリビタキ
⑦モズ ⑧ハシビロガモ

福井強志氏撮影
(日本野鳥の会・岐阜県支部)



岐阜大学応用生物科学部
附属野生動物管理学研究センター(野生動物救護室)
〒501-1193 岐阜市柳戸1-1
Tel/Fax 058-293-2959
<http://www1.gifu-u.ac.jp/~kyugoyas/index.html>